

事業名	九州自然歩道魅力ステップアップ事業	新・改・既	課名	自然環境課 (自然公園室)
		国庫・ <u>県単</u>		
<p>1 事業の目的・背景</p> <p>九州自然歩道の現況調査を行い、今後の整備・利用計画を策定することにより自然の大切さや森林の持つ公益的機能を学ぶ魅力ある場としての九州自然歩道の利活用を図る。</p>				
<p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 8, 000千円</p> <p>(2) 財 源 <u>宮崎県森林環境税基金</u></p> <p>(3) 事業期間 令和2年度</p> <p>(4) 事業主体 県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>路線の見直しや見所箇所の調査、関係機関等からの情報収集を行い、地元関係者や有識者等参画による歩道の整備・利用計画の策定を行う。</p>				
<p>3 事業効果</p> <p>インバウンド対応や森林セラピー等での活用を見込んだ整備・利用計画を策定することにより、自然とのふれあいや森林の恵みを体感する機会の充実、地域の魅力向上に資する施策展開が図られる。</p>				

九州自然歩道魅力ステップアップ事業

1 コース（下記コース図参照）

- ①高千穂コース（高千穂町大字五ヶ所～日之影町七折）
- ②丹助岳コース（日之影町七折～延岡市北方町板下）
- ③行滕山・速日の峰コース（延岡市北方町板下～美郷町北郷区宇納間）
- ④おせりの滝・珍神（うずがみ）山コース（美郷町北郷区宇納間～日向市東郷町山陰甲）
- ⑤尾鈴コース（日向市東郷町山陰甲～西都市大字穂北）
- ⑥西都原コース（西都市大字穂北～国富町大字深年）
- ⑦綾・国富コース（国富町大字深年～都城市高崎町笛水）
- ⑧霧島山麓コース（都城市高崎町笛水～高原町大字蒲牟田）

2 延長

県内372km ※うち県自然公園室管理 107.7km

[九州自然歩道コース図]



事業名	宮崎県版レッドデータブック改訂事業	新・改・既	課名	自然環境課
		国庫・県単		

1 事業の目的・背景

「レッドデータブック（2010年度版）」を改訂し、県内の野生動植物の最新の生息状況（絶滅のおそれのある種の選定）を明らかにすることで、野生動植物の保護はもとより、県民の自然環境保全への気運の醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 予算額 5,320千円

(2) 財源 宮崎県森林環境税基金 : 2,250千円
 一般財源 : 3,070千円

(3) 事業期間 令和2年度～令和4年度

(4) 事業主体 県

(5) 事業内容

① 野生動植物生息状況等調査事業（令和2～4年度）

県内に生息・生育する希少な野生動植物について、現地調査、文献調査等を行い、生息状況等を把握する。

② レッドデータブック改訂事業

ア レッドデータブック改訂検討委員会の設置（令和2～3年度）

県内の動植物の専門家で構成された検討委員会において、掲載種の選定、原稿策定等を行う。

イ レッドデータブックの発行・配布（令和3年度）

3 事業効果

(1) 県民に対して広く普及啓発を図り、森林などの生物多様性の保全を推進する。

(2) 県内の小中学校等へも配布し、教材として利用し、次代を担う若い世代の自然保護意識の向上を図る。

(3) 行政機関にあっては、自然保護施策への活用、各種開発事業における配慮を求める。

宮崎県版レッドデータブック改訂事業

【現状と課題】

○ レッドリストとは

本県に生息・生育する野生動植物を絶滅のおそれの程度によりランク付けし、リストアップしたもの

○ レッドデータブックとは

レッドリストに基づき、より具体的な内容を記載したもの（レッドリストの野生動植物のうち、選択して掲載）。

〔レッドリスト・レッドデータブック改訂等の履歴〕

年 度	レッドデータブック	レッドリスト
1999	発 行 ←	作 成
2007		改 訂
2010	改訂・発行 ←	改 訂
2015		改 訂

※ 専門家からは、概ね5年毎にレッドリスト、10年毎にレッドデータブックの改訂を行うよう提言を受けている。

〔掲載種・絶滅種の推移〕

(単位：種)

	動物	植物	掲載種計	絶滅種
レッドデータブック(2010公表)	607	879	1,486	49
レッドリスト(2015公表)	676	1,175	1,851	52
増 減	+69	+296	+365	+3

※ 増加の主たる要因は、シカ害による植生破壊。

〔絶滅危惧種〕



(ヒメユリ)



(コアジサシ)



(ゴマシジミ)

【改訂スケジュール】

